



伊勢のお白石持



遷宮で結ぶ人の輪 心の輪
第六十二回神宮式年遷宮

編集発行: 御遷宮対策委員会
伊勢市岩淵1-7-17(伊勢商工会議所内)
電話0596-25-5215



第62回神宮式年遷宮御白石奉獻本部結成式

左より(敬称略) 奉獻本部理事長(伊勢商工会議所会頭)・上島憲 奉獻本部長(伊勢市長)・鈴木健一 神宮少宮司・高城治延 神宮大宮司・鷹司尚武

第六十二回神宮式年遷宮 御白石奉獻本部並びに連合会結成される

去る二月十一日、建国記念の日。伊勢のまちには珍しく、何年ぶりかの大雪の降る中、第六十二回神宮式年遷宮御白石奉獻本部並びに奉獻団連合会が結成されました。

午前九時、伊勢商工会議所において、奉獻団連合会の結成式が開催され、正副会長、正副総委員長をはじめ役員、委員出席の下、国歌斉唱に続いて会則、役員名簿等が上程され、満場一致で滞りなく承認された。その後、一同整列して参道を進み、外宮御正殿の御垣内において、連合会結成の報告の参拝をいたしました。

その後、奉獻本部役員が内宮に移動。宇治橋前に整列後、大勢の参拝者で賑わう参道を整然と歩き、御垣内にて参拝後、午後一時三十分、内宮参集殿において奉獻本部の結成式が開催され、諸議題の質疑に移り、満場一致で承認後、神宮より「第六十二回神宮式年遷宮御白石奉獻本部」と記された表札を賜り閉会となりました。

午後三時、伊勢商工会議所内の御遷宮対策事務局入り口に、本部長、理事長の手によって掲げられた表札は、お白石持行事を成功裡に執り行うための旗印のように輝いています。

伊勢の市民が心ひとつに、両宮にお白石をお納めする「お白石持行事」に向けて、いよいよ動き始めました。

平成25年 お白石持日程

お白石持行事の奉獻日程と運行

御白石奉獻団連合会並びに奉獻本部各位のご承認の下、お白石持行事の奉獻日程と運行行程が決定されましたので、ご報告いたします。



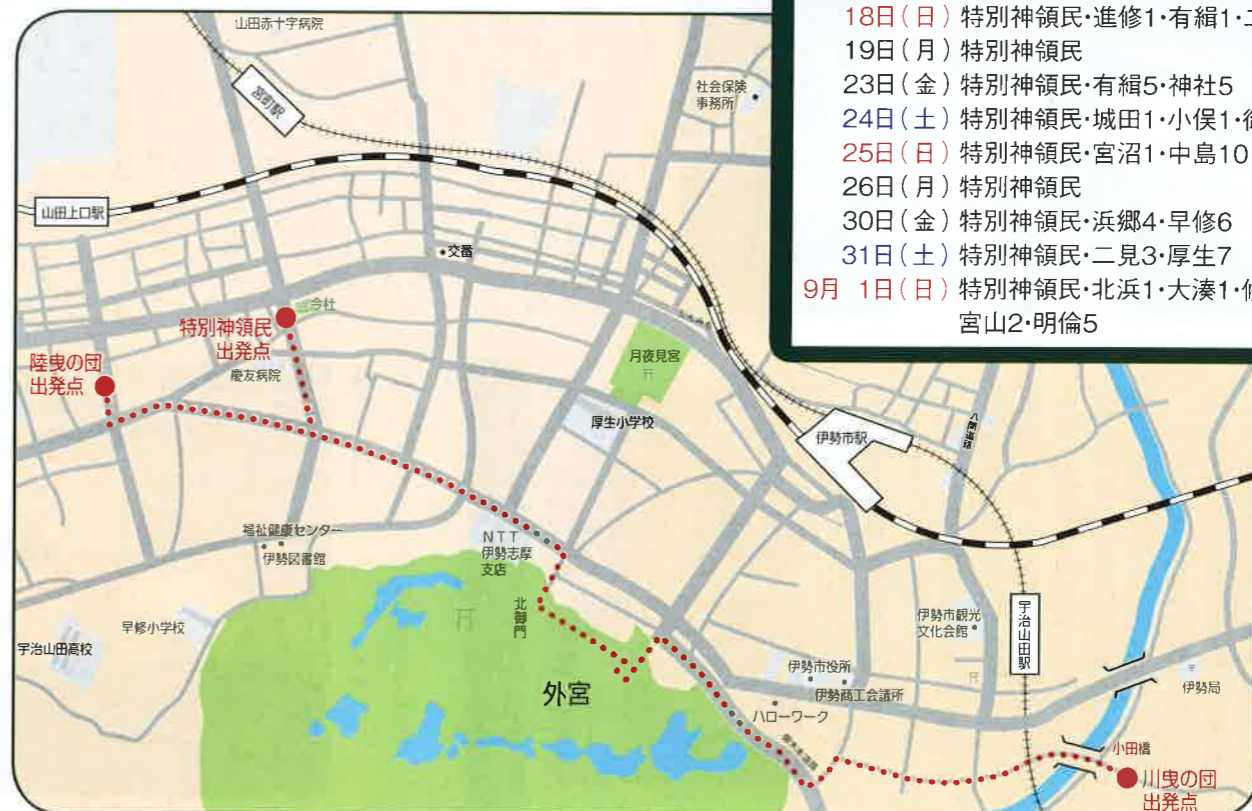
<内宮奉獻日> 7月26日(金)~8月12日(月)

- 7月26日(金) 進修1・有緝1・二見7
- 27日(土) 特別神領民・四郷6・修道6
- 28日(日) 特別神領民・有緝5・神社5
- 29日(月) 特別神領民
- 8月 2日(金) 特別神領民・宮沼1・中島10
- 3日(土) 特別神領民・城田1・豊浜1・小俣1・御園5
- 4日(日) 特別神領民
- 5日(月) 特別神領民
- 9日(金) 特別神領民・北浜1・大湊1・修道1・宮山2・明倫5
- 10日(土) 特別神領民・二見3・厚生7
- 11日(日) 特別神領民・浜郷4・早修6
- 12日(月) 特別神領民

※奉獻回数については団の結成状況等により変更になることがあります。また、各奉獻団の奉獻の順番については、今夏期に協議を予定しております。

<外宮奉獻日> 8月17日(土)~9月1日(日)

- 8月17日(土) 四郷6・修道6
- 18日(日) 特別神領民・進修1・有緝1・二見7
- 19日(月) 特別神領民
- 23日(金) 特別神領民・有緝5・神社5
- 24日(土) 特別神領民・城田1・小俣1・御園5
- 25日(日) 特別神領民・宮沼1・中島10
- 26日(月) 特別神領民
- 30日(金) 特別神領民・浜郷4・早修6
- 31日(土) 特別神領民・二見3・厚生7
- 9月 1日(日) 特別神領民・北浜1・大湊1・修道1・宮山2・明倫5





奉献本部結成にあたり鈴木本部長(伊勢市長)、上島理事長(伊勢商工会議所会頭)からの挨拶を要約してお伝えいたします。



鈴木本部長挨拶

本日、御白石奉献本部がめでたく結成の運びとなりましたことを心よりお慶び申し上げます。

この度、私は、この本部の栄えある本部長の大役を仰せつかり身に余る光栄と存じます。この行事は皆様のお力をお借りしなくては行うことができません。私も力一杯頑張る所存でございます。今後、皆様と力を合わせて進めてまいりたいと思っておりますので、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨年は、約八百八十八万人を超える方々が伊勢を訪れて下さり、記録の残っております中では最高となりました。これは、神宮様はじめ関係各位のご努力が実を結んだ賜物で、そのご尽力に感謝申し上げます。

平成二十五年の第六十二回神宮式年遷宮にむけ、平成十七年の御樋代木奉曳(みひしろぎほうえい)からはじまり、平成十八年、十九年のお木曳行事と執り行われてまいりました。いよいよ、御遷宮に向け最高潮となるお白石持に向け

開始しました。この機会に、県内外からお越しいただく方も増えることと思えます。お越し下さった皆様が、御遷宮後も、再び伊勢を訪れていただけるようなおもてなしを心がけてまいりたいと存じます。



上島理事長挨拶

この度は理事長の選任を受けまして、一言ご挨拶を申し上げます。

さて、平成二十五年の第六十二回式年遷宮に向けましては、平成十六年に御遷宮対策事務局を設置して以降、お木曳行事、宇治橋架け替え奉祝事業を中心に、地域が一体となり取り組んでまいりました。

そして、本日ここに、お白石持行事に向けた奉献本部の結成式を迎えましたことは、神宮様をはじめといたしまし関係各位の皆様、そして地域の奉献団の皆様あつてのことと存じます。ご存知のとおり、社会情勢の変化に

に伴い、全国規模でまちのありようを問う問題が取りあげられておりますが、伊勢のまちは永く伝統とする神宮様へのご奉仕を通じ地域が結束し、これまでも幾多の困難を乗り越えてきたようにも思えます。

そのなかで、神宮様とともに歩み、ともに栄えてきたまちとして、この式年遷宮にかかるお木曳行事、お白石持行事は私ども地域にとりましても新たな息吹となる一大行事であり、一方では広く全国からも大きな関心が寄せられております。

現在、伊勢のまちはまた二十年前とは異なる様相を呈しておりますが、現世代の担い手として、皆様と一緒に尽力して参りたく、どうぞご支援ご協力の程宜しくお願い申し上げます。



結成式の締めくくりに出席者一同による万歳三唱

神宮大宮司 鷹司尚武様よりお言葉を賜りました。



鷹司尚武様よりお言葉を賜りました。

お白石拾いに出掛けましょう



冬の寒さも終わりを告げ、日々暖かい春の日差しが射し込めるころとなつてまいりました。

宮川河畔の桜も間もなく満開。この絶好の時節に、お白石を拾いに出掛けませんか。町や団単位、あるいはご家族友人と誘い合わせて新宮の御敷地にお納めするお白石を探しに出掛けましょう。

何よりも、お白石を集めることからお白石持行事ははじまるのです。二年先に、檜の香り漂う白木の御殿を拝す日に思いを寄せながら、着実に準備を進めたいものです。

